

# ご 挨拶

## 三次商工会議所

### 会 頭 佐藤 明寛



新年、明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

まず始めに、今年も新年互礼会を残念ながら中止せざるを得なかったことを心よりお詫び申し上げますとともに、会員の皆様並びに市民の皆様におかれましては、当商工会議所の事業運営に対して日頃より特段のご理解ご協力を賜り、年頭にあたり厚くお礼申し上げます。

また、2年にわたり「新型コロナウイルス感染症」が各方面に甚大な影響を及ぼしている中で、事業継続と雇用維持に懸命な努力をされておられる会員事業所をはじめ市内事業者の皆様方に対し深甚なる敬意を表するとともに、当商工会議所は今年も地域経済発展のため皆様に寄り添い共に痛みを感じながら全力を尽くしてまいり所存であります。そして、今年こそはマスクを外し皆様と笑顔で慶びを分かち合える年であることを心より願っております。

昨年は、そのような状況下緊急経済対策として、三次市との協同事業で地域内経済循環を活発にする「三次藩札」を高齢者・子育て世帯への支援も含め実施することができました。また、現在「街の光で、心を笑顔に」をテーマのもと三次駅前地区をイルミネーションで彩る事業も行っています。

こうした中、当商工会議所は with コロナ・after コロナを見据え、今年も会員事業所への継続的な経営支援はもとより、地域経済を支える中小・小規模事業者の経営革新、業種転換、販路開拓や働き方改革、健康経営の推進など「生産性向上」への活動を後押しするとともに、ICT・デジタル技術の活用促進にも三次市他関係各方面と連携し積極的に取り組んでまいります。また、地域経済活性化の最優先課題である地域内消費拡大事業の積極的な取り組みや SNS 活用による迅速な情報提供、交流人口拡大に向けた広域連携事業などにも尽力してまいります。

この度の新型コロナウイルス感染症の影響は、社会経済だけでなく教育環境にも大きく影響しており、子どもたちに及ぶ精神的影響は多大であり、また長期に渡るように感じています。当商工会議所としても教育行政や地域との関わりを密にして地域全体で子どもたちを支えていきたいと考えております。また、中高一貫校として新たにスタートした広島県立三次中学校・高等学校も昨年全学年の生徒が揃い、いよいよ真価を問われます。将来の三次を支えて頂く人材を育てるため、県北地域近隣高等学校と経済界として多様な協力も必要と考えています。

新型コロナウイルス発生から3年目を迎えた今、感染防止対策やワクチン接種なども進み、厳しい中にも落ち着きを取り戻しつつあります。変異を繰り返し影響し続けるコロナウイルスと如何に共存するか、経済活動をどのように再開して行くかはとても大変なことでありますが、地域経済の着実な前進と皆様に希望と笑顔を取り戻して頂くために本年も邁進してまいりますので変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。